

麻布大学同窓会広島県支部 平成 23 年度 第 43 回通常総会

場所 ホテルセンチュリー21 広島
日時 平成 24 年 2 月 19 日

恒例であります通常総会も今年で 43 回目となりました。会員数（会費納入者）は 116 名の会員で構成されていますが、例年のごとく総会出席者は 20 数名～30 数名の出席で開催されております。今回は獣医女性会・開業部会の研修会と重なり、24 名の出席者数になりました。総会次第に沿って市場強支部長（V 昭 34 卒）の挨拶から始まり、来賓で講師であられる紫野正雄同窓会長からご挨拶、そして議長に西村正美（V 昭 43 卒）幹事が選出され議事の進行を滞りなくなされ、出席会員全員が賛同するものでありました。

報告事項は麻布大学同窓会代議員会中国ブロック会議について報告がありました。本年より広島県支部から麻布大学同窓会理事（2 年）を輩出するようになるとのことであります。

特別講演として「麻布大学同窓会等を取り巻く近況と課題などについて」と題し、紫野正雄同窓会長より講演がなされました。同窓会会報は同窓会本部より発送することになった、同時に在学生にも配布しているとのこと、創立 125 周年記念大会は平成 27 年に挙行すること、東日本大震災支援のこと、受験状況・就職状況など近年傾向の変化がでてきたという話に興味深く拝聴させていただきました。卒業生子女の入学については 5 月の代議員会で明確な返答が学長よりあるかもしれないとのことでした。

閉会挨拶を河原田圭三（V 昭 36 卒）副支部長からいただき総会を終了し、写真撮影と懇親会へと和やかな中に交歓を深めていくことができました。顔ぶれが毎年同じようであることが気がかりではあるが、若い会員を誘ってできるだけ多くの同窓の和が広がっていくことを切望しています。

平成 24 年 3 月
事務局長 前田 茂（V 昭 46 卒）



第 43 回麻布大学同窓会広島県支部 平成 24 年 2 月 19 日 於 ホテルセンチュリー 21 広島